

2011.10.22



FVP (フューチャー・ビジョン) セミナー

ー グローバル補助金 ー

RID2660 地区財団FVP委員会

宮里 唯子

# グローバル補助金とは

『クラブ&地区補助金』 『パッケージグラント』

- 3つのプログラム
  - ①人道的プログラム
  - ②奨学金
  - ③職業研修
- 6重点分野
- 大規模な国際プロジェクト（大きな効果と継続性）

## パッケージ・グラント

- ・ロータリー財団が選んだ協力組織との提携の下に、地区とクラブが活動に当たる。
- ・資金は全額、WF（国際財団活動資金）および協力組織から提供される。

# グローバル補助金の特徴

## ■ 6つの重点分野

平和と紛争予防／紛争解決  
疾病予防と治療  
母子の健康  
水と衛生設備  
基本的教育と識字率向上  
経済と地域社会の発展

### **平和と紛争解決**

地元での平和活動強化（研究支援）  
紛争予防と仲裁に関する研修を地元リーダーへ提供  
紛争による被害を受けた人々、子供、青少年へ援助を提供

### **母子の健康**

母子が基本的医療を受けられるようにする  
妊婦と5歳未満の子供の死亡率を減らす

### **経済と地域社会の発展**

貧困地域の起業家、地域社会のリーダー育成と女性の発展  
生産性の高い仕事の機会の提供

# グローバル補助金の要件

- 地域社会の真のニーズ
- 実施国と援助国が提唱（ロータリー）
- 双方が積極的に活動
- 補助金15,000ドル以上  
（3万ドル以上のプロジェクト）

## グローバル補助金

- ・ 15,000~200,000ドル
- ・ 国際財団活動資金（WF）から10万ドル以上の申請は、管理委員会が四半期ごとに審査。

# グローバル補助金の要件（人道的プロジェクト）

- 重点分野
- 測定可能な成果
- 成果が持続
- 受益者社会と立案し、協力して取り組む

## 成果が持続

＝「プロジェクトがもたらした影響を長期的に持続できること」『持続可能性の8つの原則』（RIウェブサイトを参照）

# グローバル補助金の要件（奨学金）

- 重点分野に関連する大学院レベル
- 1～4年の研究
- 派遣地区から受け入れ地区（海外）への留学生

## 奨学金プログラム（現行）

国際親善奨学金（2009年7月停止）（DDF100%・ロータリーのある国のみ・ロータリー指定校・留学期間1年）

ロータリー平和フェローシップ（修士号取得得コース（15~24ヶ月）／専門能力開発修了証コース（3ヶ月））

国際問題研究の為にロータリー・センター・プログラムは、G補助金モデルに当てはまるため、未来の夢計画による変更はない

# グローバル補助金の要件（職業研修=VTT）

- 重点分野を支援する共通の目的を持つチーム
- 参加人数の上限はない（チームリーダーはロータリアン）
- 年齢制限と研修期間の制約がない
- 1件の補助金で複数のチーム派遣可

## VTT・・・Vocational Training Team

最低、団長+3名

## GSE・・・Group Study Exchange

多種多様な職業に従事するロータリアン以外のチームを海外に派遣。

4-6週間の職業的・文化的な交流。

団長+4名=5名（DDF利用で2名追加可）

25-40歳まで

# グローバル補助金の業務サイクル

▪ 随時受け付け

▪ 提案書の提出（オンライン）

↓ 承認

▪ 申請書（オンライン）

活動の目的  
重点分野

活動の詳細  
予算情報

# グローバル補助金の活動例

## 『インドネシアのデング熱撲滅』（補助金16,000ドル）

⇒ 1400の家屋の貯水槽に白いタイル

⇒ 住民に蚊の繁殖防止研修

⇒ 行政と活動データを共有

### デング熱（感染症）

熱帯シマ蚊やヒトスジシマ蚊（致死率は国によって、数パーセント～1%以下）。デング出血熱／デングショック症候群の場合は、致死率3～6%）

### グローバル補助金の要件（人道的プロジェクト）

- ①重点分野・・・保健（化学物質に頼らない公衆衛生に大きな成果）
- ②測定可能な成果・・・発症率43→4件 支援家屋1.4%：非支援家屋9.7%
- ③成果が持続・・・研修により、家屋対応の蚊の発生確認及び防除作業が可能となる
- ④受益者社会と立案し、協力して取り組む・・・行政、住民のプロジェクトへの参加

# グローバル補助金申請への準備

- プロジェクトの立案（ホストクラブ／地区）

真のニーズ  
効果が測定可能  
成果の持続

- 地区／他クラブと協力

経済的支援と活動参加

「成果の持続」は、研修と情報交換がポイントになる

グローバル補助金プロジェクトは、事業費が比較的多額であるため、複数クラブによる合同プロジェクトなど計画することが望ましい。



**Thank you for your attention**